

「繊維から繊維へ」 サーキュラーエコノミー 実現に向けた取組

第二部講演
15:40～
伊藤忠商事株式会社



日本で廃棄される衣類の量は年間およそ50万トン*。
手放される衣類の64%は、焼却や埋め立てによって処分され、
大きな環境負荷となる。大量生産・消費型のファストファッションが
普及し、服の寿命が短くなったことや大量の在庫を生み出したことが
主な原因として挙げられ、業界の持続可能性がいま問われている。

※出典：環境省令和2年度ファッションと環境に関する調査業務-「ファッションと環境」調査結果

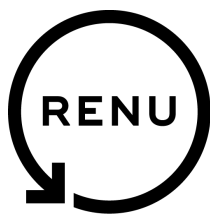




Question

どうやってこの問題を解決していくの？

「繊維から繊維へ」本日ご紹介する3つの取組



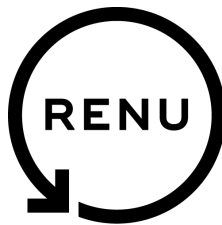
レニュープロジェクト

ECOMMIT

株式会社エコミット



株式会社リピート



レニュープロジェクト “繊維から繊維へ”を実現する リサイクルポリエステル

11/10/2025

Copyright © ITOCHU Textile & Raw Material Sect 2025

5



“Renu Our Fashion”

11/10/2025

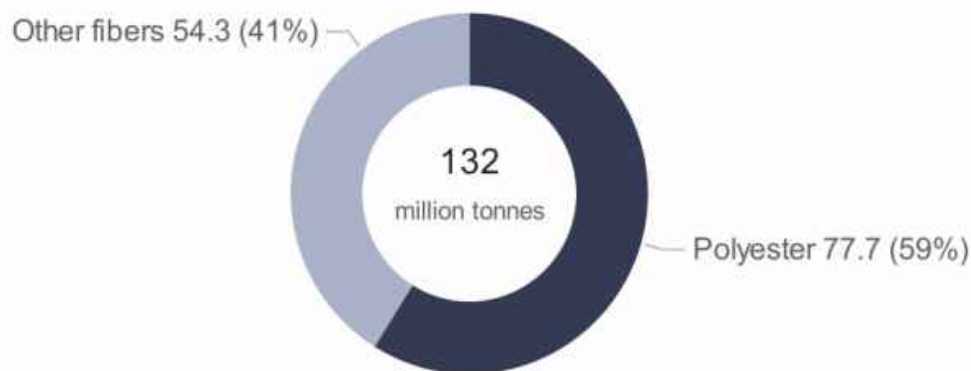
Copyright © ITOCHU Textile & Raw Material Sect 2025

6

RENU Project開始に至る背景

全素材に占めるポリエステルは59%で年間約7,780万トン（前年は7,110万トン）
衣料循環においてはポリエステルにおける取組が最もインパクトがある

Global market share of polyester in 2024 (million tonnes)



Source: Textile Exchange based on Maia Research 2025 and global data compilation.

11/10/2025

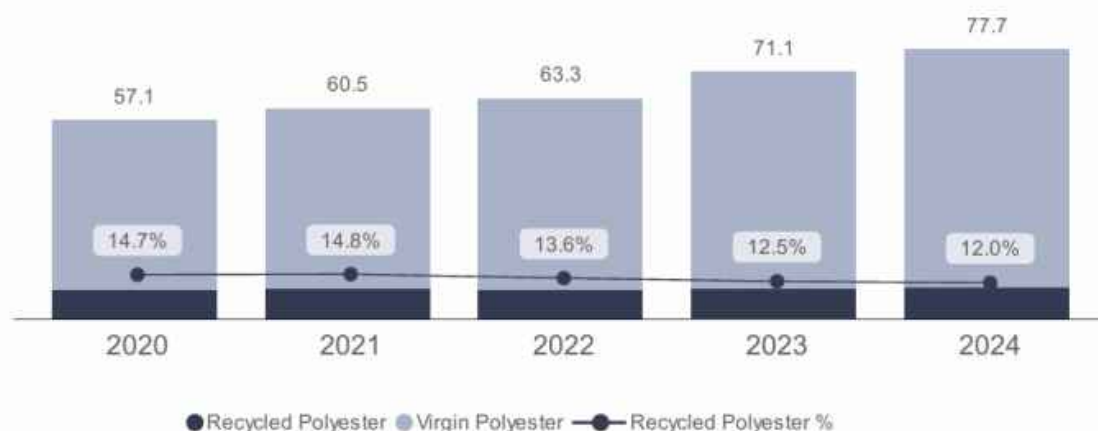
Copyright © ITOCHU Textile & Raw Material Sect 2025

7

RENU Project開始に至る背景

世界的な脱炭素の流れを受け、ポリエステルの中でもリサイクルポリエステルの生産は増加し、ポリエステルの中で約12%を占める（23年 約890万→24年約930万トン）

Global polyester production (million tonnes) and share of recycled (%)



Source: Textile Exchange based on Maia Research 2025 and global data compilation.

11/10/2025

Copyright © ITOCHU Textile & Raw Material Sect 2025

8

RENU Project開始に至る背景

リサイクルポリエステル生産には“原材料”が必要。
現在その原材料の約98%を使用済みペットボトルに頼る。



日本市場でもボトルの水平リサイクルの拡大で、繊維向けに来るボトル原料が
相対的に減る可能性あり。衣料起点の回収・選別・前処理体制の構築が鍵。

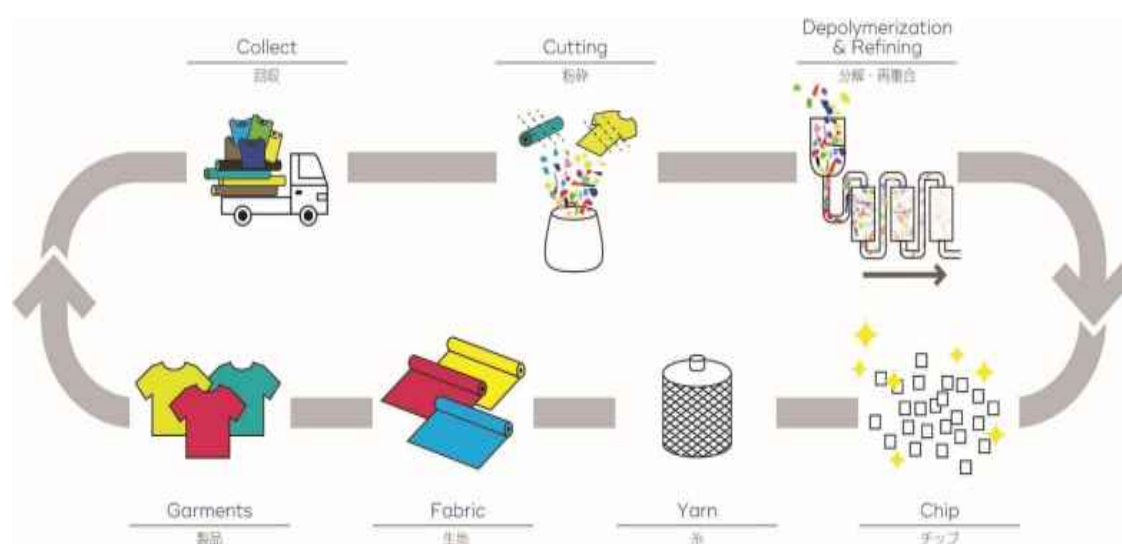
11/10/2025

Copyright © ITOCHU Textile & Raw Material Sect 2025

9

RENU® Projectとは

繊維の循環モデル(=Textile circularity)を目指すProject
ポリエステル製品を従来に劣りを落とすことなく次世代に繋いでいく



11/10/2025

Copyright © ITOCHU Textile & Raw Material Sect 2025

10

繊維から繊維へに必要な1つが最先端の技術”ケミカルリサイクル”
ポリエステル製品を従来にクオリティを落とすことなく次世代に繋いでいく



品質安定



発色性の高さ



豊富なアイテム展開



「レニュー」を使用したブルゾン。
ポリエステルは同じ石油由来のナイロンと比べ、
引張り強度が高く弾力性がある。洗濯しても乾きやすく、
耐熱性もあることからケアしやすいとされ、日常的な
衣服に使われることが多い。

第5講 | カッコいいサステナブルが、世界を変える。 |
伊藤忠商事株式会社

RENU® Project採用事例



RENUは、ファストファッション大手H&Mをはじめ、デサントやグローバルワーク、ハンティング・ワールドなど多くのブランドに採用されている。

採用ブランドからは、従来ではリサイクル繊維による品質トラブルに悩まされたが「RENUに切り替えたら解決した」という感想が寄せられる。ファッション産業の誰もがプロジェクトに参加できるようにRENUは糸、生地、製品いずれの形で提供しているという。

[日本発の再生繊維「RENU」が“服の大量廃棄”に終止符を打つ | クーリエ・ジャポン](#)

RENUを使用した商品の一例

左: ファミリーマート / 右: エストネーション (参考商品)

RENU® Project採用事例

公開：2025/10/27

[マッシュスタイルラボ、伊藤忠・三景と協業
「レニュー」で循環型モデル構築 - WWDJAPAN](#)



SNIDEL

マッシュスタイルラボは伊藤忠商事および同社グループの三景と協業した衣類循環モデルを構築する。マッシュスタイルラボ製品の生産工程で発生する裁断くずを回収し、伊藤忠商事が展開する環境型配慮素材「レニュー (RENU)」として再資源化、さらにそれを三景が製品裏地として提供する仕組みだ。

伊藤忠商事はマッシュスタイルラボの各縫製工場においてポリエステル100%の裁断くずを回収する。これをケミカルリサイクル技術によって「レニュー」の原料として活用し、バージンポリエステルと同等の品質を持つリサイクルポリエステル素材へと生まれ変わらせる。さらに同素材を使用して三景が製品裏地を提供することで、ブランド内での循環型リサイクルにつなげる。

第1弾として、マッシュスタイルラボが展開する「SNIDEL (スナイデル)」の2026年春夏シーズンの一部製品にリサイクル裏地を採用する予定。将来的には、同ブランドの裏地付き製品すべてを「RENU」由来のリサイクル素材に切り替える方針だ。同社によると、27年時点で切り替えが完了した場合、従来のバージンポリエステル使用時と比べ、年間でCO₂排出量を約38トン、水使用量を約12万7,000リットル削減できる見込みとしている。

RENU® Project採用事例

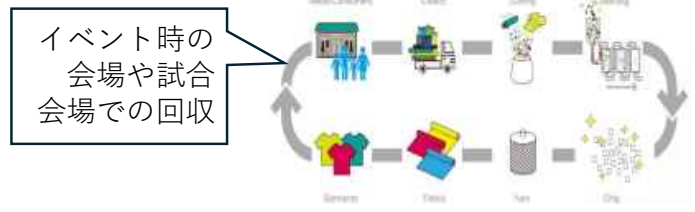


循環型社会の実現に向けた取り組みを強化 RENU 素材を活用したサステナブルTシャツを着用開始のお知らせ

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
 この度、浦安D-Rocks（所在地：千葉県浦安市）は、オフィシャルサプライヤーである株式会社ドームおよびドーム社の循環パートナーの株式会社ECOMMITと協働を開始している、不要になった衣類を回収・再資源化する「ウェア循環プログラム」（2025年4月23日リリース：ウェアリサイクルにより新たな服へ「ウェア循環プログラム」の開始 | URAYASU D-Rocks）の一環として、伊藤忠商事株式会社が展開するリサイクルポリエステルブランド「RENU（レニュー）」のプロジェクトを通じた再生繊維素材（再生ポリエステル）を活用し、株式会社ドームで製品化したTシャツを着用し、今後開催される各種イベント等に参加をいたします。

本取り組みは、ファッションロス削減やCO₂排出量の低減を目指すものです。回収されたポリエステル100%の衣類の一部は、伊藤忠商事株式会社が展開する「RENU」プロジェクトを通じて再生され、今回のTシャツに採用されています。

浦安D-Rocksは、スポーツを通じて持続可能な社会の実現に貢献するため、今後も環境に配慮した取り組みを積極的に推進してまいります。



イベント時の会場や試合会場での回収



RENU® Project採用事例

ミドリ安全様

センチュリー21・ジャパン様



特注ユニフォーム分野としては初めて「100%環境配慮型素材RENU」を採用した製服を企画から生産まで導入サポート

ユニフォーム、特注ユニフォーム分野としては初めて100%環境配慮型素材RENUを採用した製服を企画から生産まで導入サポートいたしました。今回サポートした株式会社センチュリー21・ジャパンでは、顧客RENUを採用した最先端製服が一部導入されます。

2025年よりユニフォームは、同じ伊藤忠商事グループであるセンチュリー21の製服一貫生産に併行、お客様のご要望や季節の異なるという観点から環境配慮型ストレッチ素材や機能性素材の導入を進め、高い品質とお客様の健康志向に向けて様々な提案を行ってまいりました。その中で伊藤忠商事が提供する環境配慮型素材RENUの採用を提案したところ、SDG目標の達成にも貢献できる「RENUプロジェクト」に賛同頂き、新製服への導入が決定されました。

今回RENUを採用しているアイテムは、ワーク系のカジュアルジャケットと、同じくワーク系のカジュアルジャケットです。RENUはペットボトルから再生するポリエステルと再生繊維、消費中廃棄物のポリエステルを再生して作られるため、色の再現性や品質の劣化を生じさせることがありません。

ユニフォームはSDGs（持続可能な開発目標）に積極的に貢献してまいります。

※1: 今回採用
 ※2: RENUは伊藤忠商事株式会社の登録商標です。